



Deliberate Practice

校長

オリンピック・イヤー2020 年を迎えました。これからしだいに日本中が期待と興奮に包まれ、夏が過ぎるまでアスリート達の熱い戦いに眼が釘付けことになるでしょう。オリンピック・パラリンピックの出場内定者も続々と決まっていますが、代表の座を目指してしのぎを削っているアスリート達も多くいます。昨年 11 月末に開催された育友会の教育講演会で、「夢への挑戦」というテーマでお話しをいただいた車いすアスリートの北浦遙香選手もその一人です。講演会の後でうかがった話では、パラリンピック日本代表になるには世界ランキング 6 位以内に入っていることが条件だそうで、北浦選手はその時点でランキングが 8 位であるため、今年オーストラリアで開催される国際大会に出場して良い成績を残す必要があるとのことでした。しかもその大会には渡航費も含め諸費用は全て自費で参加するというお話でした。スポンサーがなく、競技用の車椅子にも相当のお金がかかるそうです。それでも、自分の目標に向かってトレーニングしていくと楽しそうに話して下さいました。夢をみるのではなく実現可能な目標に向かって、楽しみながら“Deliberate Practice（意図的練習）”を積み重ねる、それを実践している北浦選手に爽やかな感動を覚えました。まだ代表内定の知らせはありませんが、みなさんとともに応援したいと思います。

もうひとつ、最近私に関心をもっているある人のことを記したいと思います。私は大学で一般教養の授業を持っていますが、100 名ほどの大学生に混じって 80 歳を越えた女性が受講しています。一般の方ですのでお名前を記すことは控え、ここでは仮に A さんとさせていただきます。ちなみに福井大学では学生以外の一般の方に一部の授業を開放しており、毎学期 20 人ほどの受講者がいます。その多くが私より年配の方たちで、どなたもとても熱心に講義を聴講しています。その中でも A さんは最も高齢であるのに、謙虚で聡明な印象を受けました。A さんは、朝一番の授業にもかかわらずいつも 15 分以上前に教室に入り、一番前の席で講義資料に目を通しています。これまで授業の前後にお話しする機会が多くありましたので、その中で印象に残った A さんのコメントをいくつか挙げてみたいと思います。ヒトの発生を扱った授業の後で、「ヒトが生まれてくるって凄いことですよええ。子どもを 3 人産んでいるのに何も知りませんでした。」・・・そして iPS 細胞による加齢性黄斑変性症治療の臨床研究を紹介した時には、「実は私も黄斑変性症で眼が見えにくいんです。資料もスライドもあまり見えないんです。いつになったら治療ができるようになるのでしょうか。」・・・骨と筋肉に関する授業で骨粗鬆症の話をしたときには、「私もその病気で腰椎を圧迫骨折したんです。」

次頁へ

「もう私の体ボロボロですよ。」と笑いながらおっしゃいました。さらに認知症の話では、「私も物覚えが悪くて、認知症になるんでしょうかね。」と言われるので、「大学まで通うことで体を動かし、しかもこれだけ頭を使っていたら認知症なんかありませんよ。」とお答えしました。そして、どうしてこれだけ熱心に勉強されるのか尋ねたところ、「新しいことを知ることが楽しくてしょうがないんです。」とのお答えをいただきました。

北浦選手とAさんに共通する点はなんでしょうか。お二人ともトレーニングや勉強することがルーティンになっていること、そして何よりもそれを楽しみながらやっているということです。一つのことを、目的を持ってやり続ける（学び続ける）ことで自己の成長を実感できる、それが楽しいと思えば、“Deliberate Practice”ができるのではないのでしょうか。私も謙虚に学び続ける人になりたいと思います。みなさんはいかがですか。



附族アルバム 1月

7年生主題 「日本の伝統音楽に親しもう！～声の特徴を探る～」

班ごとに自分たちの調べたい日本の伝統音楽のジャンル（声明、長唄、民謡、狂言、能）の声を聞き、自分たちが思った声の特徴をオリジナル譜に表現してとらえました。オリジナル譜を作ることによって、日本の伝統音楽の「声」についての学びを深めることができました。



音楽集会1 / 16（木）

A組 民謡

「文節ごとに響きがあり、強弱がついていて、こぶしがあることが民謡の特徴です。」



A組 狂言

「狂言は声に響きがあって、ハキハキしています。他と比べて話している声に近いです。狂言の特徴を出せるように頑張ります」



B組 狂言

「狂言のハリのある特徴的な声に着目してください」



B組 民謡

「音色や地声を使う特徴的な発生に注意して聴いてください。」

C組 民謡

「民謡の特徴は、全体的に音が高く、鼻にかかる点とあっさりとしたメロディです。」



Program



- 音楽集会部門長のあいさつ
- 5年生「地球星歌」
- 6年生「かんぷ」
- 7年生「日本の伝統音楽に親しむ!〜声の特徴を探る〜」
- 8年生 雅楽「越天楽」
- 9年生「日本の声・世界の声・そして自分の声の特徴を探る!」
- 委員長のあいさつ
- 全校合唱「ふるさと」

『ふるさと』

1. うさぎ追いかの山 夢は今もめぐりて	2. ぶんが釣りの山 たれがたき ふるさと
2. いかりにいまや父母 雨に風にのせて	3. つかねしや 友がき 思ひいかな ふるさと
3. 志ざしをばたして 山は青きふるさと	1. 川の日にけふらん 水は青きふるさと

令和2年
1月16日(木)
後期音楽集会

Fuzoku Ongaku Kawaraban

name _____

令和2年度
1.16(木)
14:30~15:30



委員長の言葉

皆さんには! 後期音楽委員長の 高橋 菜留花。
音楽集会するこの7年が、そのつながり、そして民謡の音楽文化
を絶つる文化を伝える大切な行事です。後期は前期の経験
をふまえて、さらにリードする仲間がいます。
一緒に力を合わせます。
皆さんは! 後期も「音楽で楽しむ!」
と掲げて頑張るつもりで頑張ります。
一緒に頑張ります。
よろしくお願いします。

音楽集会部門長の言葉

皆さんには! 後期音楽集会部門長の
山田 明依です。後期音楽集会では日本伝統的
な音楽から世界の音楽まで幅広いジャンルの音楽を5年生から
9年生まで個性豊かに発表します。所属の音楽集会では
総のつながりを感じ、前期課程から5、6年生にも
来てもらいます。その時間を皆さんが楽しんでくれるのに
励みます。よろしくお願いします。

プログラム製作：音楽委員会



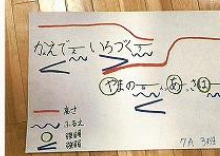
C組 狂言

「迫力があり堂々としている歌になっています。特に『う』の音をより特徴的にとらえられるように努力しました。」

7年生「日本の伝統音楽に親しむ!」

〜声の特徴を探る〜

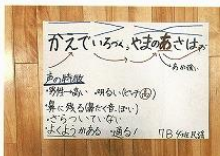
7年生は班ごとに自分たちの調べたい日本の伝統音楽のジャンル(声明・長唄・民謡・狂言・能)の声をきき、自分たちが思った声の特徴をオリジナル譜を作って捉えました。オリジナル譜を作ることで、さらに日本の伝統音楽の「声」についての学びを深めることができました。



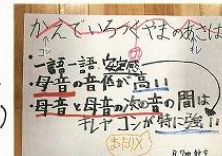
7A
3班
(民謡)



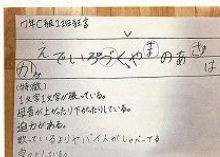
7A
5班
(狂言)



7B
4班
(民謡)



7B
7班
(狂言)



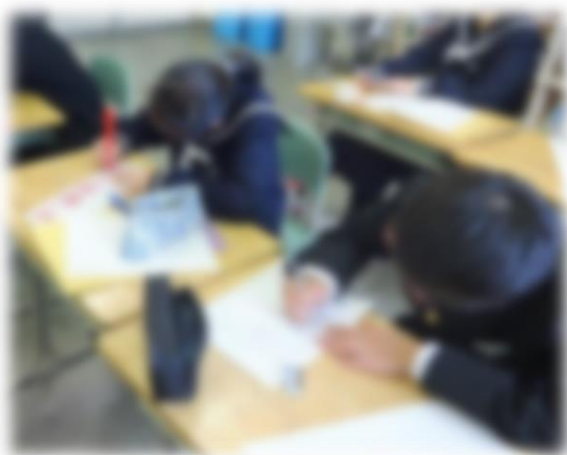
7C
1班
(狂言)



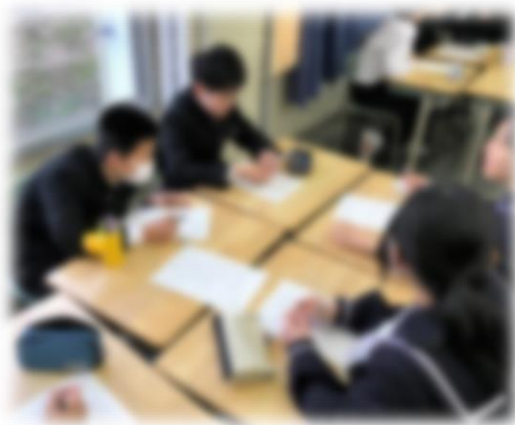
7C
3班
(民謡)

道 徳

後期も後半を迎え、もうすぐ8年生に進級します。これまでの自分自身を振り返り目標を立てました。



学P ラウンドテーブル



9年生が聞き手、ファシリテーターとなって、7・8年生のこれまでの実践を意味づけたり、価値付けを行ったりしました。個々がこれまでの活動を振り返りました。

先輩のアドバイスを受けてプロジェクトが進みはじめました。

